

◇ R3年度 指定管理者事業評価書

| 施設名 | 草津駅東自転車駐車場 | | | 指定管理料 | 利用料金 | 支出 | 経理の状況 | 施設運営の方針 |
|----------|--|-------|-----|-------------|------|-------------|--------------------------|--------------------------|
| 施設所管課 | 都市計画部 | 交通政策課 | 初年度 | 14,000,000円 | | 14,000,000円 | 指定管理料の中で、適正な予算執行が行われていた。 | 市民の自転車等の利用促進および市民サービスの向上 |
| 施設HPアドレス | www.city.kusatsu.shiga.jp | | 2年目 | | | | | |
| 指定管理者名 | 草津市勤労者福祉サービスセンター | | 3年目 | | | | | |
| 指定期間 | 令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日 | | 4年目 | | | | | |
| 評価対象期間 | 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日 | | 5年目 | | | | | |

| ●総合評価の基準 | | |
|----------|-------|------------------------------------|
| 5 | ☆☆☆☆☆ | 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である |
| 4 | ☆☆☆☆ | 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である |
| 3 | ☆☆☆ | 評価基準の最も多い評価が☆☆☆である |
| 2 | ☆☆ | 評価基準の最も多い評価が☆☆である |
| 1 | ☆ | 評価基準に☆が1以上ある |

| ○その他の項目 | |
|---------------|-----------|
| 公募・非公募の別 | 公募 |
| 使用料・利用料金制の別 | 使用料 |
| 指定管理者による運営開始日 | 平成18年4月1日 |
| 施設の供用開始日 | 平成2年8月1日 |
| 指定管理導入前の運営形態 | 包括的委託 |

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

| ●指定管理者の総合自己評価… | ☆☆☆ | ●市(施設所管課)の総合評価… | ☆☆☆ |
|---|-----|--|-----|
| 年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入) | | 事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入) | |
| 5つの管理・運営方針を目標にしました。 ①新型コロナウイルス感染症予防対応の強化を目指します。 ②公平、公正で、かつ無駄のない効率的な管理を目指します。 ③施設内の事故・事件発生「0」を目指します。 ④特殊電動自転車置き場の拡充を目指します。 ⑤統括管理者を軸にした危機管理体制の強化を目指します。 | | 指定管理者として草津市立自転車駐車場条例、草津市自転車の安全で安心な利用の促進に関する条例および仕様書に基づき、施設利用者に快適に利用してもらうよう努め、緊急時にも対応できるよう体制を整えられた。また、初めて利用される施設利用者に対しても親切に使い方を教えるなど、現場でも丁寧に対応された。 また、施設の利用者ニーズを的確に把握し、市と密接に連携しながら適切な管理運営ができていた。 | |
| 事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入) | | 公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証 | |
| 5つの管理・運営方針が実行できました。 ①感染症予防対応の結果、感染者は「0」でした。 ②公平、公正で、かつ無駄のない管理運営ができました。 ③施設内の事故・事件発生件数は「0」でした。 ④特殊電動自転車置き場を新たに10台分増設しました。 ⑤施設管理課と密接に情報交換を行い危機管理体制の強化ができました。 | | (公募について) 多様化する市民のニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間事業者のノウハウを活用し、市民サービスを向上させるとともに、経費節減等を図るために公募による選定を行った。 | |
| | | (使用料金制について) 使用料金制は、利用料金制とは異なり、施設の収入が市の歳入となる制度であり、当該施設においても限られた指定管理料の中で民間事業者のノウハウを取り入れながら、市の歳入を確保できた。 | |

| ◇施設に係る主な指定管理業務 | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営および維持管理に関すること。 ・草津市立自転車駐車場条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。 | |

| ◆評価基準 | |
|-------|-------------------------------------|
| ☆☆☆☆☆ | 仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である |
| ☆☆☆☆ | 仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である |
| ☆☆☆ | 仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である |
| ☆☆ | 仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である |
| ☆ | 仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である |

| 施設の管理等に関する業務（清掃）（仕様書P1） | | | | |
|-------------------------|------------|--|-------------|---|
| 評価項目1 | 指定管理者の自己評価 | | 市（施設所管課）の評価 | |
| | 上半期評価 | 利用者の感染予防のため1階から3階にかけて手摺、ラックなどの消毒を徹底して実行しました。 | 上半期評価 | 新型コロナウイルス感染症対策として、アルコールによる消毒作業を徹底して実施された。その結果、施設内での感染拡大を防止でき、職員の感染者を出さなかった。 |
| | ☆☆☆ | | ☆☆☆ | |
| | 下半期評価 | 引き続き感染予防に努めました。併せて、コロナ禍で施設の安全管理に努めました。 | 下半期評価 | 上半期に続き、感染症対策を実施され、施設内での感染拡大を防止して運営できた。また、利用者に対して、挨拶や声掛けが徹底されており、また、高齢者などにも丁寧に説明を行い、誰もが快適で利用しやすい施設づくりができた。 |
| | ☆☆☆ | | ☆☆☆ | |

| 施設の管理等に関する業務（修理・点検）（仕様書P1） | | | | |
|----------------------------|------------|---|-------------|---|
| 評価項目2 | 指定管理者の自己評価 | | 市（施設所管課）の評価 | |
| | 上半期評価 | 仕様書に定める点検回数を遵守するとともに、必要に応じて、設備の修繕を迅速に行うことで、安全な管理を実施しました。 | 上半期評価 | 当該施設は、自転車搬送機コンベア等の設備があるが、仕様書に定められた回数の点検を行うだけでなく、毎日点検を行い、劣化等を発見した時には、市と連携し早急に修繕等の対応ができた。 |
| | ☆☆☆ | | ☆☆☆ | |
| | 下半期評価 | 設備などに故障が発生した際は、市や業者と連携し、速やかに修繕を行うことで、施設利用者への影響を最小限に抑えることができました。 | 下半期評価 | 市や業者と連絡をとり、修繕がスムーズに実施できた。また、修繕後の経過も情報共有し、施設状況を常に把握できるよう連携がとれた。 |
| | ☆☆☆ | | ☆☆☆ | |

| 事業の実施に際する接遇（仕様書P1） | | | | |
|--------------------|------------|--|-------------|--|
| 評価項目3 | 指定管理者の自己評価 | | 市（施設所管課）の評価 | |
| | 上半期評価 | 自転車、バイク、自動車の利用台数を増やすためにも、利用者ニーズを的確に把握し、施設の利用状況の変化に合わせて管理運営をしました。具体的には、働く母親の利用が増加していたことから、屋内に加えて屋外にも子供乗せ電動自転車の置き場を設置しました。 | 上半期評価 | 施設の利用実態を観察し、利用者ニーズを適切に把握することで、子供乗せ電動自転車の専用置場を増設する等の、利用者ニーズを把握した対応ができた。 |
| | ☆☆☆☆☆ | | ☆☆☆☆☆ | |
| | 下半期評価 | 引き続き利用者ニーズを的確に把握し、施設の利用状況の変化に合わせて管理運営を行うことで、令和3年度の売上は前年度よりも増加しました。併せて、利用者から喜ばれる施設運営を目指しました。 | 下半期評価 | 上半期の取組を継続することで、利用者数が増加し、売上も前年度に比べて増加しており、利用促進が図れた。 |
| | ☆☆☆☆☆ | | ☆☆☆☆☆ | |

| 施設の利用に関する業務（仕様書P1） | | | | |
|--------------------|------------|---|-------------|--|
| 評価項目4 | 指定管理者の自己評価 | | 市（施設所管課）の評価 | |
| | 上半期評価 | 高齢者や子供を連れた利用者から空気入れを貸してほしいとの要望があれば、常に管理員が支援し、2段式ラックの利用方法については、実体験をしていただきながら説明する等利用者サービスの向上に向けて声掛けや支援を欠かさず行いました。 | 上半期評価 | 利用者の要望に応じて、施設を利用しやすい声掛けや支援を行うことで、利用者サービスの向上に向けた取り組みができた。 |
| | ☆☆☆ | | ☆☆☆ | |
| | 下半期評価 | 上半期の支援を継続して実施しました。利用者からも継続を望む声が強いため、利用者サービスの向上に努めました。 | 下半期評価 | 上半期の取組を継続することで、利用者サービスの向上に向けた取り組みができた。 |
| | ☆☆☆ | | ☆☆☆ | |